

# 里海としての瀬戸内海とそれを支える文化力

## 趣 旨

瀬戸内海は我が国最大の閉鎖性海域であり、古くから水産業および海運業の要衝として、また、近代では工業地帯として人間生活と深く関わってきました。かつて「瀬死の海」と呼ばれるほど海域環境が悪化しましたが、瀬戸内法の施行等にもとない危機的な状況を脱し水質等では一定の改善を見ました。しかし、浅海域喪失や底質悪化等過去の負の遺産により生態系は劣化し、生物の多様性や生産性の低下など物質循環機能が未だ回復していません。

瀬戸内海研究会議では、ここ数年来、人手をかけながら高レベルの生物多様性や生物生産性を維持できる海域を「里海」と名づけ、人との関わり合いのなかで豊かな海を再生し、保全する方策を議論・提言してきました。

今回のフォーラムは、「里海としての瀬戸内海とそれを支える文化力」をメインテーマに、瀬戸内海の西部海域を中心として、①北九州洞海湾での自然環境研究や特徴的な実践活動、②瀬戸内航路の今と昔、③西瀬戸の環境を生み出し育んでいる里海づくりの事例について議論を行い、これらの議論を統合しつつ、「里海を再生・保全するための地域文化力」をテーマに総合討論を行います。また、第2セッションにおいては、ポスター発表の形式で、広く環境保全・創造に関する研究・活動報告を発表する機会も設けております。

多数のご参加をお待ちしています。

日 時 平成20年**9月4日(木)** 13:00~18:15  
**9月5日(金)** 9:30~16:30

## 会 場 ウェルとばた

フォーラム：**中ホール**(3階)

懇親会：**多目的ホール**(2階)

北九州市戸畑区汐井町1-6  
TEL 093-871-7200

参加料 ○フォーラム：**参加料無料 資料代：1,000円**  
(参加人数：150名程度)

○懇親会：**3,000円**

(資料代・懇親会参加料につきましては、当日フォーラム会場で申し受けます。)



洞海湾にかかる若戸大橋

## 参加申込方法

参加申込書に氏名・所属・住所・電話番号を明記の上、**8月25日(月)**までに、Eメール・FAX・郵送にて、下記の宛先までお申し込み下さい。  
(参加証等は発行しませんので、お申し込み頂いた方は当日会場へお越し下さい。)

## (お申込・お問い合わせ先)

瀬戸内海研究会議事務局

〒651-0073 兵庫県神戸市中央区脇浜海岸通1-5-1

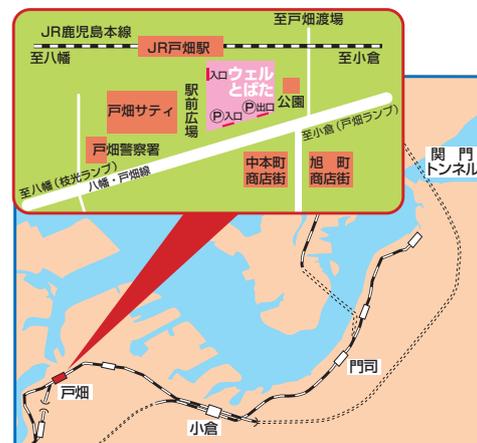
国際健康開発センター3階 (社)瀬戸内海環境保全協会内

TEL：078-241-7720 FAX：078-241-7730

<http://www.seto.or.jp/kenkyu>

Eメール：[web@seto.or.jp](mailto:web@seto.or.jp)

## 会場案内図



アクセス

・新幹線 小倉駅で下車後、在来線 下り方面 戸畑駅下車。  
JR戸畑駅から徒歩1分。

主催：瀬戸内海研究会議、北九州市  
協賛：瀬戸内海環境保全知事・市長会議、社団法人瀬戸内海環境保全協会  
後援：環境省、福岡県、北九州市立大学、福岡女子大学、九州大学  
社団法人北九州市衛生総連合会、財団法人福武学術文化振興財団

(以上予定)

詳しくは裏面をご覧ください。

9月4日 (木) 13:00~18:15

開会 13:00~13:30

第1セッション 13:30~15:30

環境首都北九州の創出ー洞海湾再生の取り組みー

座長：上田 直子 (北九州市立大学国際環境工学部准教授)

☆洞海湾における水質環境の変化と赤潮の発生状況

山田真知子 (福岡女子大学人間環境学部教授)

☆洞海湾の近年の水質改善と生態系の変化

上田 直子 (北九州市立大学国際環境工学部准教授)

☆ムラサキイガイを使った洞海湾の環境修復活動

中村 聖 (北九州市港湾空港局総務港営部総務経営課係長)

☆福岡湾御島海域の環境修復

富野 正弘 (福岡市港湾局環境対策部環境対策課課長)

第2セッション 15:45~18:15

環境保全・創造に関する研究・活動報告

司会・進行：濱田建一郎

(北九州市立大学アクア研究センター研究員)

ポスター発表：ハイブリッド方式  
(ポスターは2日間、展示場で常時展示)

瀬戸内海研究会議総会 17:30~18:15

懇親会 18:30~20:00

(多目的ホール 参加料：3,000円)

9月5日 (金) 9:30~16:30

第3セッション 9:30~11:30

瀬戸内海航路の昔と今

座長：柳 哲雄 (九州大学応用力学研究所教授)

☆縄文丸木舟と黒曜石

柳 哲雄 (九州大学応用力学研究所教授)

☆中世瀬戸内航路と源平合戦

服部 英雄 (九州大学比較社会文化研究院教授)

☆近世瀬戸内航路と朝鮮通信使

倉地 克直 (岡山大学文学部教授)

☆現代瀬戸内航路から見えてくる海の歴史ー来島海峡の事例ー

大成 経凡 (栄昌海運株式会社)

第4セッション 12:40~14:40

西瀬戸の里海づくり

座長：山田真知子 (福岡女子大学人間環境学部教授)

☆豊前海の漁場環境ー変動の歴史ー

尾田 成幸 (福岡県水産海洋技術センター豊前海研究所研究員)

☆地域ブランドへの取り組みー豊前海一粒かきー

中川 浩一 (福岡県水産海洋技術センター豊前海研究所研究員)

☆漁業者の実践活動ー抱卵ガザミの再放流ー

池内 賢二 (福岡県豊前海区漁協青壮年協議会)

☆市民と交流する水産業ー朝市、直売所、カニ・カキロードー

大庭 俊一 (北九州市産業経済局農林水産部水産課課長)

総合討論 14:50~16:00

里海を再生・保全するための地域文化力

座長：楠田 哲也 (北九州市立大学国際環境工学部教授)

☆パネリスト：

柳 哲雄 (九州大学応用力学研究所教授)

山田真知子 (福岡女子大学人間環境学部教授)

穴井 直幾 (福岡県水産海洋技術センター所長)

上田 直子 (北九州市立大学国際環境工学部准教授)

☆コメンテーター：

松田 治 (瀬戸内海研究会議会長)

ポスター賞発表・閉会 16:00~16:30

瀬戸内海研究フォーラム in 福岡

参加申込書

氏名

所属

住所

TEL

フォーラム 参加 (研究会議会員・一般)

懇親会 参加・不参加

当該箇所に○印をお付け下さい。

ご提出いただいた個人情報は本事業の目的以外には利用しません。